

---

---

# 消

# 防

---

---

1.	消 防 の 概 要	- 387-
2.	消防署、防災センター	- 390-
3.	職 員 の 配 置 状 況	- 393-
4.	消防車両等の配備状況	- 394-
5.	消 防 団	- 395-
6.	消 防 水 利 状 況	- 396-
7.	防火・防災訓練と主な行事	- 397-
8.	救 急 活 動	- 398-
9.	火災概況（前年との比較）	- 400-
10.	通 信 施 設	- 401-



## 1. 消防の概要

世界に誇る文化遺産をはじめ数多くの文化財を抱える奈良市の消防は、「火を出さない、出させない」を合言葉とし、安心・快適なまちづくりを目指し、消防行政を推進している。

現在、中央・南・西・北・東の5消防署と6分署を拠点として機動力を発揮し、地域に密着した消防業務を実施している。今後、高度情報化社会に対応する消防体制の確立を期していく。

### (1) 予防消防

市民一人ひとりに防火に関する正しい知識の普及と防火思想の高揚を図り、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災意識の普及推進を図るため、火災予防運動を中心に、宿泊施設等への電話防火パトロール、ひとり暮らし高齢者宅の防火訪問などを実施し、また、自治会等に対し、防火講話、消防訓練などを行い、防火意識の高揚を図っている。工場、作業場、旅館、病院、飲食店、マーケット等の事業所及び危険物施設などにおいては、火災が発生した場合の人的、物的被害が大きいため、計画的に予防査察を行い、消防用設備の設置、防火管理体制の確立を図り、危険箇所の排除に努めている。

世界遺産並びに世界に誇る国宝・重要文化財については、関係機関と連携を密にし、市民と一体となった文化財防火防災対策を進めている。

これら伝統ある文化財と歴史的風土の保存とともに、中高層ビルの増加、市街地再開発事業による市街地整備など近代都市への脱皮という二面性を有しているが、これら個々の建築物に合った防火防災上の指導を設計から竣工まで行っている。

### (2) 消防体制

#### ア 各種災害への対応力の強化

建築構造の高層化・深層化などに伴い、火災をはじめ救助事象など各種災害が複雑多様化するとともに、大規模な自然災害等により多数の負傷者が発生する事故、さらには近年問題となっているテロ災害、放射能災害などに対応できる消防車両・資機材の整備、専門的な知識及び技能の習得、より実践に即した訓練の実施により消防体制の強化を図っている。また、平成 23年4月1日より消防局消防課に指揮支援隊を設置し、災害現場における指揮体制と安全管理の強化を図っている。

#### イ 消防施設の整備拡充

高層過密化する建築物に対応し、中央・西・北各消防署にはしご付消防自動車、南消防署には屈折はしご付消防自動車及び高所救助放水車を配備している。また、危険物取扱施設やタンクローリー等危険物搬送車両の火災に対応するため、化学消防自動車を中央・南消防署にそれぞれ1台、計2台配備するとともに近代都市への変貌により地階等、密閉構造の建築物が増加していることから、これらの火災に対処するため排煙機等の資機材整備を行い、市民生活の安全を確保している。

### (3) 救急活動

病院前医療体制のより一層の充実が求められているなか、救急救命士法が制定され、さらに充実を図るために業務の拡大高度化が推進され、メディカルコントロール協議会のもと、講習・実習等の諸条件を満たした認定救急救命士による気管挿管及び薬剤投与の実施や、平成22年10月からドクターカーの運用を開始したことによって、より高度な救命処置が行えるようになった。あらゆる救急事案に対応するため、救急自動車の資器材の整備、救急救命士がより高度な処置を行うための資器材が整備された高規格救急自動車を14台導入し、現在、救急救命士58人（平成27年4月1日現在）をもって活動している。さらに、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進するため、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いを含めた応急手当普及講習会を実施している。

#### (4) 救助活動

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は多岐にわたっている。

これら災害に対処するには、救助活動に関する高度な知識と技術が要求されることから、当市では、平成22年4月1日、南消防署に高度救助隊が発隊し、中央消防署設置の特別救助隊、北、西、東の各消防署設置の救助隊と併せ、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全安心に万全を期している。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害が発生した場合の活動に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練、教養を実施し、隊員の資質の向上に努めている。

#### (5) 防災対策

##### ア 震災対策

大規模な地震時の火災等に備えて、耐震性の防火水槽を計画的に設置しており、現在耐震性100㎡の防火水槽を38基設置している。また、消防活動及び避難地の照明電源供給のために、中央消防署には電源車を配備している。今後も震災対策として消防資機材等の整備を図り消防力・消防水利の充実強化を図る。

##### イ 消防広域相互応援

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓から、平成7年6月、全国消防機関による緊急消防援助隊が創設され、広域消防応援体制が整えられた。また、奈良県下においても、平成8年5月、奈良県消防広域相互応援協定が締結され、大規模または特殊な災害が発生した場合の応援体制の整備を図った。これらの対応として、平成7年度以降高度救助用資機材、災害対応特殊救急自動車、支援車及び支援資機材等を計画的に購入配備するとともに平成23年3月に発生した東日本大震災の経験を踏まえ、総務省消防庁より燃料補給車、支援車I型の無償貸与を受け、大規模災害に対する救急救助体制、後方支援体制の更なる充実強化を図っている。

##### ウ 消防救急無線及び指令システムの整備

現在運用中の消防通信指令総合システムが、平成28年2月末でリース契約期間が終了することから、本システムの更新を検討する中、地震等による市域を超えた広域的な災害発生時における、近隣市町村との連携及び初動体制の強化、消防指令施設の整備費、運用費のコスト削減など財政面の効率化の観点から、システムの更新時期が比較的近く、また市域が隣接し生活圏においても密着している奈良市と生駒市が、平成25年7月1日に「奈良市・生駒市消防通信指令事務協議会」を設置し、平成28年4月からの消防通信指令業務の共同運用を目指し、指令システムの整備及び協議を進めている。

##### エ 女性防災クラブ、幼年消防クラブ

###### ① 女性防災クラブ

地域における女性を中心とした防火体制を拡充することにより、地域住民の生命、身体、財産及び地域に点在する文化財を火災その他の災害から守り、安全な地域社会の実現に資する。

クラブ数 21      クラブ人員 1,697人

###### ② 幼年消防クラブ

子供の火遊びによる火災を防止するため、幼年期に正しい火の取り扱いを教えるとともに消防の仕事に対する理解を深め、防火思想の普及を図ることにより、これらの火災の減少と幼児の健全育成を期する。

クラブ数 7      クラブ人員 219人

**(6) 防災センター**

災害時には、情報の迅速な処理と適正な運用を行い、応急救護、住民の避難場所として活用し、また平常時においては、防災PR活動や防災教育を行う防災拠点として建設。

防災センターの機能を活用して、防災意識の高揚と普及啓発等を行うとともに、事業者の自主防災体制の確立と市民の防災コミュニティ活動の育成指導を行い、市民の防災意識の向上を図る。

**(7) 広報活動**

消防音楽隊は、「消防行政のPR」と「防火思想の普及」のため、消防局主催の諸行事、市内の小学校及び福祉センターへの訪問演奏会、市のイベント等で演奏を行っている。また、広く市民と交流を図るために各種団体等からの演奏依頼にも積極的に参加し、火災予防と市民の安全を願いつつ市民の皆様に愛され、親しまれる消防音楽隊を目指し活動を続けている。

## 2. 消防署、防災センター

### (1) 消防局(南消防署)

所在地	八条五丁目404番地の1		
竣工日	昭和58年10月5日		
構造	鉄筋コンクリート造 5階建		
敷地面積	6,622.12㎡		
建築面積	677.84㎡		
延床面積	2,431.65㎡		
建設費	建築費	763,856千円	用地費 642,888千円

### (2) 南消防署西大寺分署

所在地	二条町二丁目1番1号		
竣工日	平成4年1月28日		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建		
敷地面積	454.80㎡		
建築面積	187.35㎡		
延床面積	564.33㎡		
建設費	建築費	234,058千円	用地費 163,984千円

### (3) 中央消防署

所在地	西木辻町43番地の1		
竣工日	平成18年3月28日		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建		
敷地面積	1,333.05㎡		
建築面積	553.23㎡		
延床面積	1,405.20㎡		
建設費	建築費	371,393千円	用地費 24,200千円

### (4) 中央消防署佐保分署

所在地	法蓮町926番地の4		
竣工日	平成元年8月30日		
構造	鉄筋コンクリート造 2階建		
敷地面積	1,471.05㎡		
建築面積	249.75㎡		
延床面積	399.75㎡		
建設費	建築費	84,760千円	用地費 284,194千円

### (5) 中央消防署南部分署

所在地	横井五丁目497番地の3		
竣工日	昭和62年4月		
構造	鉄筋コンクリート造 2階建、一部鉄骨鉄筋造 平屋建		
敷地面積	1,088.93㎡		
建築面積	372.20㎡		
延床面積	500.40㎡		
建設費	建築費	122,795千円	用地費 46,772千円

**(6) 西消防署**

所在地 鶴舞西町1番19号  
竣工日 平成25年7月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 2,144.40㎡  
建築面積 679.47㎡  
延床面積 1,185.69㎡  
建設費 建築費 325,500千円 用地費 252,611千円

**(7) 西消防署富雄分署**

所在地 三碓六丁目10番40号  
竣工日 昭和60年12月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建、一部鉄骨鉄筋造 平屋建  
敷地面積 1,234.99㎡  
建築面積 320.72㎡  
延床面積 500.40㎡  
建設費 建築費 107,563千円 用地費 114,551千円

**(8) 北消防署**

所在地 右京二丁目1番地の1  
竣工日 平成4年3月31日  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 4,218.19㎡  
建築面積 484.11㎡  
延床面積 1,008.87㎡  
建設費 建築費 441,592千円 用地費 500,000千円

**(9) 東消防署**

所在地 針町647番地の1  
竣工日 昭和53年5月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 1,367.00㎡  
建築面積 370.55㎡  
延床面積 587.05㎡  
建設費 建築費 95,700千円 用地費 24,495千円

**(10) 東消防署東部分署**

所在地 大柳生町1232番地  
竣工日 平成8年3月31日  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 1,019.66㎡  
建築面積 302.46㎡  
延床面積 492.36㎡  
建設費 建築費 155,530千円 用地費 13,500千円

### (11) 東消防署月ヶ瀬分署

所在地	月ヶ瀬尾山3395番地の2
竣工日	昭和57年7月
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	559.00㎡
建築面積	102.24㎡
延床面積	249.09㎡
建設費	建築費 34,900千円 用地費 不明

### (12) 防災センター

所在地	八条五丁目404番地の1
竣工日	平成7年6月30日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積	6,622.12㎡(奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内)
建築面積	872.66㎡
延床面積	3,021.372㎡
総事業費	1,667,000千円 本体工事費 1,393,000千円 展示工事費 274,000千円
施設内容	1階 消火体験、煙避難体験、台風体験、地震体験、奈良市の防災体制、ビル火災と避難方法、119番通報体験、緊急地震速報展示装置、昔の消防ポンプ(腕用ポンプ)、火災とその対処法、防災Q&A、防災センター事務室 2階 研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室 3階 消防局、指令課、通信指令室、災害対策作戦室、コンピュータ室 4階 多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室
開館時間	午前9時30分から午後4時30分
休館日	月曜日(その日が休日の場合は開館し、翌日が休館)、休日の翌日(その日が土・日曜日及び休日にあたる場合は開館)、12月28日～翌年1月4日 都合により臨時に開館又は休館する場合あり
入館料	無料



### 3. 職員の配置状況

(平成27年7月1日現在)

所属等	区分	合計	消防局長	副局長 消防危機統制監 室長参事	課長 消防官 主幹 副署長	補佐 主査 中隊長	主任 小隊長 副小隊長	係員				
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
合計		390	1	5	20	42	134	103	2	83		
局	局長	1	1									
	副局長・消防危機統制監室長・参事	5		5								
	総務課	19			3	3	7	3		3		
	災害対策室	消防課	18			2	4	9	3			
		予防課	12				2	7	3			
		文化財防災官	1			1						
	情報救急室	救急課	8			2	2	2	2			
		指令課	25			2	3	8	8	1	3	
小計		89	1	5	10	14	33	19	1	6		
署	中央消防署	本署	86	44			2	5	17	8		12
		佐保分署		21				1	6	7	1	6
		南部分署		21				1	6	8		6
	南消防署	本署	62	41			2	5	13	11		10
		西大寺分署		21				1	6	8		6
	西消防署	本署	60	39			2	5	13	6		13
		富雄分署		21				1	6	8		6
	北消防署		33	33			2	3	12	7		9
	東消防署	本署	60	31			2	3	12	8		6
		東部分署		16				2	6	7		1
月ヶ瀬分署		13					1	4	6		2	
小計		301			10	28	101	84	1	77		
条例定数		412										

救急救命士61名

#### 4. 消防車両等の配備状況

(平成27年4月1日現在)

署 所 区 分	計	消 防 局	中 央 消 防 署			南消防署		西消防署		北 消 防 署	東 消 防 署		
			本 署	佐 保 分 署	南 部 分 署	本 署	西 大 寺 分 署	本 署	富 雄 分 署		本 署	東 部 分 署	月 ヶ 瀬 分 署
計	117	21	17	6	5	17	4	11	4	10	11	6	5
ポンプ車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	5				1			1		1	1	1	
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1					1							
I型救助工作車	2									1	1		
II型救助工作車	2		1					1					
III型救助工作車	1					1							
電源車	1		1										
普通型(2B型)救急車	2										1		1
高規格救急車	12	1	1		1	2	1	2	1	1	1	1	
災害対応特殊救急車	2		1	1									
指令車	9	6	1					1			1		
広報車	5	3				1				1			
査察車	10	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	4	1	1		1						1		
支援車	2	2											
輸送車	1					1							
連絡車	2	2											
燃料補給車	1	1											
予防啓発車	1	1											
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	16	1	5	2		3		1		1	1	1	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプ数には、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

## 5. 消 防 団

### (1) 消防団機械器具等配置状況

(平成27年4月1日現在)

分 団	計	防 災 活動車	救助資機材 搭載型車両	消 防 ポンプ 自動車	小 型 動 力 ポンプ	積載車	機 械 器 具	
							背 負 式 消火水のう	布 水 槽
計	477	1	1	1	111	96	175	92
消防団本部	3	1	1		1			
中 部 方 面 隊	三 笠	4			2	1		1
	春 日	6			4	2		
	若 草	3			1	1		1
	白 毫 寺	3			1	1		1
	大 安 寺	6			2	2		2
南 部 方 面 隊	東 市	20			9	9		2
	辰 市	9			4	2		3
	明 治	14			6	6		2
	帯 解	19			7	7		5
	精 華	21			4	4	9	4
西 部 方 面 隊	都 跡	3			1	1		1
	平 城	14			3	3	5	3
	伏 見	3			1	1		1
	富 雄	12			4	4		4
東 部 方 面 隊	田 原	74		1	15	13	29	16
	柳 生	48			9	6	24	9
	大 柳 生	45			7	6	25	7
	東 里	47			9	6	23	9
	狭 川	30			3	3	21	3
	月ヶ瀬	36			7	7	15	7
	都 祁	57			11	11	24	11

### (2) 報酬

(単位：円)

区 分	団 長	副団長 方面隊長	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員
			方面隊 副隊長	分団に所属 するもの				
支給年額	350,000	270,000	160,000	145,000	88,000	65,000	55,000	50,000

### (3) 費用弁償

種 別	1回当たり出動支給額	備 考
水 火 災 出 動	4,000 円	ただし、1回当たりの出動 が4時間を超える場合は4 時間をもって1回とする。
警 戒 出 動	3,000 円	
訓 練 出 動	2,500 円	
機 械 器 具 点 検 出 動	2,000 円	
そ の 他 の 出 動	2,000 円	

## 6. 消防水利状況

### (1) 消防水利状況

(平成27年4月1日現在)

種 別	個所数	内 訳					
		中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署	
消 火 栓	公設消火栓	5,007	1,598	1,221	1,438	486	264
	私設消火栓	361	200	97	32	31	1
防 火 水 槽	公設防火水槽 有蓋 40 <sup>ト</sup> 以上100 <sup>ト</sup> 未満	509	123	54	119	30	183
	100 <sup>ト</sup> 以上(内耐震)	41(38)	13(12)	6(6)	11(11)	6(6)	5(3)
	無蓋 40 <sup>ト</sup> 以上100 <sup>ト</sup> 未満	131	12	0	0	1	118
	100 <sup>ト</sup> 以上	0	0	0	0	0	0
	私設防火水槽 有蓋 40 <sup>ト</sup> 以上100 <sup>ト</sup> 未満	634	192	139	183	57	63
	100 <sup>ト</sup> 以上	40	15	10	13	0	2
	無蓋 40 <sup>ト</sup> 以上100 <sup>ト</sup> 未満	32	6	2	3	0	21
	100 <sup>ト</sup> 以上	9	2	4	1	1	1
そ の 他	プール	99	32	15	22	12	18
	河川	26	7	6	2	0	11
	池	200	43	38	22	22	75

### (2) 耐震防火水槽 (100<sup>m</sup>以上)

所 在 地	竣 工 年 月 日	建 設 費 用	貯水量
西木辻町 済美小学校校庭	昭和52年12月 1日	8,700,000 円	100 m <sup>3</sup>
紀寺町 飛鳥小学校校庭	54年 3月20日	9,490,000 円	100 m <sup>3</sup>
法蓮町 佐保小学校校庭	54年12月20日	9,500,000 円	100 m <sup>3</sup>
大宮町四丁目 大宮小学校校庭	56年 3月10日	10,000,000 円	100 m <sup>3</sup>
三条町 三条町児童公園に隣接	56年 7月13日	寄 付	100 m <sup>3</sup>
柴屋町 帯解小学校校庭	56年12月24日	10,750,000 円	100 m <sup>3</sup>
右京四丁目 右京小学校校庭	平成 9年 3月 3日	15,553,000 円	100 m <sup>3</sup>
鳥見町三丁目 鳥見小学校校庭	9年 8月13日	15,834,000 円	100 m <sup>3</sup>
鶴舞東町 鶴舞小学校校庭	11年 3月 3日	15,361,500 円	100 m <sup>3</sup>
学園南三丁目 帝塚山学園北側歩道	13年 3月12日	学園前駅南再開発による設置	100 m <sup>3</sup>
朱雀六丁目 朱雀小学校校庭	13年 3月23日	16,065,000 円	100 m <sup>3</sup>
西登美ヶ丘四丁目 登美ヶ丘小学校校庭	13年11月29日	17,283,000 円	100 m <sup>3</sup>
神功二丁目 神功小学校校庭	14年11月 6日	13,156,500 円	100 m <sup>3</sup>
三条本町 J R 奈良駅東側区画整理地内	15年12月10日	J R 奈良駅東側区画整理事業による設置	100 m <sup>3</sup>
東登美ヶ丘四丁目 東登美ヶ丘小学校校庭	17年11月28日	13,125,000 円	100 m <sup>3</sup>
宝来五丁目 伏見南小学校校庭	17年12月 1日	13,587,000 円	100 m <sup>3</sup>
青山九丁目 鼓阪北小学校校庭	19年 2月 5日	11,497,500 円	100 m <sup>3</sup>
西九条一丁目 辰市小学校校庭	19年 2月 5日	8,942,850 円	100 m <sup>3</sup>
六条二丁目 六条小学校校庭	19年 2月 8日	9,373,350 円	100 m <sup>3</sup>
西千代ヶ丘一丁目 三碓小学校校庭	19年 2月16日	9,309,300 円	100 m <sup>3</sup>
あやめ池南九丁目 あやめ池小学校校庭	19年 8月18日	10,315,200 円	100 m <sup>3</sup>
南京終町 済美南小学校校庭	19年 8月31日	10,239,600 円	100 m <sup>3</sup>

所在地	竣工年月日	建設費用	貯水量
左京三丁目 左京小学校校庭	19年 8月31日	10,330,950 円	100 m <sup>3</sup>
四条大路五丁目 都跡小学校校庭	19年 8月31日	10,315,200 円	100 m <sup>3</sup>
百楽園四丁目 青和小学校校庭	20年 9月 9日	11,637,150 円	100 m <sup>3</sup>
中町 富雄南小学校校庭	21年 2月 9日	12,985,350 円	100 m <sup>3</sup>
佐保台三丁目 佐保台小学校校庭	21年 2月 9日	12,146,400 円	100 m <sup>3</sup>
法蓮町 佐保川小学校校庭	21年 2月20日	12,337,500 円	100 m <sup>3</sup>
菅原町 伏見小学校校庭	21年 8月28日	12,345,900 円	100 m <sup>3</sup>
古市町 東市小学校校庭	21年 9月10日	12,548,550 円	100 m <sup>3</sup>
秋篠町 平城小学校校庭	21年12月25日	12,345,900 円	100 m <sup>3</sup>
二名一丁目 二名小学校校庭	22年 3月29日	12,988,500 円	100 m <sup>3</sup>
大安寺西一丁目 大安寺西小学校校庭	22年 9月 9日	10,802,400 円	100 m <sup>3</sup>
東登美ヶ丘三丁目 平城西小学校校庭	22年 9月 9日	10,946,250 円	100 m <sup>3</sup>
都祁吐山町 吐山小学校校庭	22年 9月 9日	10,946,250 円	100 m <sup>3</sup>
横田町 田原小・中学校校庭	23年 2月 7日	11,659,200 円	100 m <sup>3</sup>
椿井町 椿井小学校校庭	23年 9月12日	11,511,150 円	100 m <sup>3</sup>
都祁白石町 都祁小学校校庭	24年 9月11日	10,941,000 円	100 m <sup>3</sup>

## 7. 防火・防災訓練と主な行事

### (1) 防火・防災訓練

#### ア 奈良市防災訓練（平成26年度）

実施日	会場	参加人員	訓練目的
平成26年11月2日	大阪城公園・花園中央公園各グループの経路	103人	大規模災害に備え、市民の勤務先が集まる大阪中心部をスタート地点として、自宅までの経路をシミュレーションする帰宅困難者訓練を実施するとともに、沿道自治体とも協力体制構築を図る。

#### イ その他の主な訓練

- ・近畿府県合同防災訓練及び緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（和歌山県田辺市）
- ・奈良県防災訓練・水防訓練・火災予防運動に伴う各種訓練・奈良市消防局災害対応訓練
- ・奈良県防災航空隊合同訓練・救助用ボートの取扱訓練及び溺者救助訓練

### (2) 主な行事予定（平成27年度）

- 6月第2週 危険物安全週間
- 9月1日 防災の日
- 9月9日 救急の日
- 11月9日～15日 秋季全国火災予防運動
- 12月20日～31日 歳末火災予防運動
- 1月8日 消防出初式
- 1月23日～29日 文化財防火運動
- 3月1日～7日 春季全国火災予防運動

## 8. 救急活動

### (1) 事故別救急出場状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
火災	30	36	37	24	29
自然災害	1		3	2	1
水難	2	2	5	2	2
交通	1,508	1,457	1,404	1,512	1,435
労働災害	91	130	95	107	128
運動競技	103	99	69	110	101
一般負傷	2,327	2,375	2,600	2,599	2,790
加害	91	70	75	80	73
自損行為	164	193	163	184	189
急病	9,677	9,929	10,274	10,576	11,037
その他	1,467	1,535	1,588	1,649	1,812
計	15,461	15,826	16,313	16,845	17,597

### (2) 傷病者搬送人員

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
死亡	150	175	184	191	166
重傷(重症)	1,027	1,003	1,070	1,019	1,043
中傷(中症)	6,570	6,651	6,845	7,195	7,828
軽傷(軽症)	6,560	6,648	6,895	7,091	6,986
その他	2	4	4	2	2
計	14,309	14,481	14,998	15,498	16,025

### (3) 診療科目別救急搬送人員

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
外科	872	1,039	1,107	1,036	1,165
内科	5,097	5,151	5,560	5,598	5,492
小児科	642	686	728	756	770
脳外科	1,628	1,453	1,510	1,602	1,663
産婦人科	193	179	187	180	185
その他	5,877	5,973	5,906	6,326	6,750
計	14,309	14,481	14,998	15,498	16,025

### (4) 市内の救急病院

国立	県立	市立	私立	計
奈良医療センター	奈良県総合医療センター	市立奈良病院	おかたに病院、奈良西部病院、沢井病院 西奈良中央病院、済生会奈良病院、 石洲会病院、高の原中央病院、松倉病院 吉田病院、西の京病院、奈良小南病院	14病院

#### **(5) 奈良県救急医療管制システム（e-MATCH）をはじめとする各種医療システムとの連携**

奈良県では、救急医療を円滑かつ迅速に行うため、平成 21 年の消防法改正に伴う救急患者の搬送・受け入れの基準の策定を行うとともに、この基準をもとに開発した医療機関から登録された診療情報に対し、消防機関からの救急患者情報をマッチングさせることにより、適切な医療機関への搬送を目指すシステムである「奈良県救急医療管制システム（e-MATCH）」の運用を行っている。

また、救急需要の増加に伴う対策として、電話による相談窓口としての「奈良県救急安心センター相談ダイヤル（#7119）」の運用、インターネット環境を活用した「奈良県広域災害・救急医療情報システム」における住民への医療情報の提供を行っている。

これらのシステムを積極的に活用することにより、より一層の救急医療体制の充実を目指している。

## 9. 火災概況（前年との比較）

区分 \ 年別	平成26年	平成25年	比較 (△減)
出火件数	86	121	△35
建物	35	49	△14
林野	4	4	0
車両	12	14	△2
その他	35	54	△19
焼損棟数	44	62	△18
全焼	8	13	△5
半焼	2	3	△1
部分焼	17	19	△2
ぼや	17	27	△10
建物焼損床面積(m <sup>2</sup> )	1,320	1,662	△342
建物焼損表面積(m <sup>2</sup> )	137	49	88
林野焼損面積(a)	26	39	△13
死傷者	12	8	4
死者	3	2	1
負傷者	9	6	3
り災世帯数	31	37	△6
全損	6	8	△2
半損	1	2	△1
小損	24	27	△3
り災人員	79	105	△26
損害額(千円)	100,871	194,220	△93,349
建物	86,905	188,465	△101,560
林野	0	0	0
車両	8,233	4,904	3,329
その他	5,733	851	4,882
出火率(件) (人口1万人当たり)	2.4	3.3	△0.9



## 10. 通 信 施 設

### (1) 無線電話

(平成27年4月1日現在)

区分・局別		実装周波数名称	出力 (w)	計	局	中央署	南署	西署	北署	東署	
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	10	86	21	17	14	11	8	15	
		可搬型無線機	10	8	3	1	1	1	1	1	
		携帯無線機	5	64	12	14	11	10	6	11	
	アナログ無線機	可搬型無線機	県内共通波 全国共通波(1~3) 防災相互波	10	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5	20	4	4	3	3	2	4
		携帯無線機 (署活動系)	署活系(1ch~4ch) 防災相互波	1	167	26	38	30	28	16	29
県防災行政無線			0.1	1	1						
市防災行政無線			10	1	1						
救急車積載携帯電話			0.8	18	3	4	3	3	1	4	
位置管理用通信機				84	19	17	14	11	8	15	

### (2) 有線電話

(平成27年4月1日現在)

局別	区分	計	局	中央署	南署	西署	北署	東署
火災専用電話 (固定電話・IP電話等) 119番		10	10					
非常用 119番 受付		7	7					
携帯 119番		2	2					
携帯 119番 転送回線		4	4					
一般加入電話		29	(一般) 6 (着信専用) 4 (単独) 3 (発信専用) 3	4	2	3	1	3
内線		184	79	30	22	19	13	21
テレガイド		14	14					
警察電話		1	1					
110番転送		1	1					
関西電力直通		1	1					
大阪ガス直通		1	1					
市役所直通		1	1					
企業局直通 (緑ヶ丘浄水場)		2	2					
第二阪奈有料道路ホットライン		1	1					

(3) 119番受信回数（火災報知専用電話使用状況）

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
緊急性を要する通報	火 災	122	129	127	125	111
	救 急	14,694	15,087	15,472	16,000	16,666
	救 助	86	80	85	127	123
	警 戒	106	117	123	134	115
	水 防	8	1	29	9	5
	調 査	6	6	17	14	3
緊急性を要しない通報	病院問合せ	12,734	10,116	9,657	8,651	5,762
	問 合 せ	2,762	3,505	3,177	3,022	3,617
	相 談	141	128	187	458	507
	苦 情	12	12	14	4	14
	感 謝	44	20	26	22	22
	間 違 い	1,067	1,241	1,199	1,699	1,331
	いたずら	210	302	286	356	264
	回線テスト	149	127	242	431	608
	自動通報試験	291	349	353	418	387
	訓 練 通 報	357	433	549	596	558
	そ の 他	2,674	2,967	2,184	1,218	1,200
合 計	35,463	34,620	33,727	33,284	31,293	